

学年	高校2年	教科	国語	科目	古典探究	単位数	2
教科書名	高等学校 古典探究 (数研出版)		副教材名	読んで見て聞いて覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法 (東京書籍) 新精選 古典文法演習ノート (東京書籍) 古典文法習得のための助動詞マスターノート (数研出版) 基本セミナー 漢文入門 (浜島書店) 精説漢文 (いいずな書店) 精説漢文完成ノート (いいずな書店) 正しく読み・解くための力をつける古典 2.5 (数研出版) 大学入試共通テスト演習国語 (いいずな書店) プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)			
コース・クラス	選抜理系						

I. 目標

古文と漢文を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くさせ、古典に関心を持たせる。

II. 授業のねらい

古典に表れているさまざまなものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取らせる。これを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むことにより、人間としての資質の形成をねらいとする。本文内容の正確な理解、作品の背景、漢詩漢文が日本に与えた影響などを学習させる。

III. 授業の進め方

- 1 文法理解、文章内容の読解を主とし、講義に加えてペア・グループワークを展開する。
- 2 古文では『新精選 古典文法』、漢文では『精説漢文』を主に使用して文法や句法の学習を進める。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読、書き下しを行うこと。
- 2 古文単語や文法、漢文の漢字の意味や句法に関する小テストを通じて、確実に知識を蓄積すること。
- 3 不明点はそのままにせず、授業後や放課後等を積極的に活用してすぐに解消すること。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 『十訓抄』、『説苑』、初見問題、助動詞・敬語、漢文句法、古文単語
- 1 学期 期末試験 : 『大鏡』、『史記』、初見問題、助動詞・敬語、漢文句法、古文単語
- 2 学期 中間試験 : 『大和物語』、『論語／孟子／荀子』、初見問題、敬語、漢文句法、古文単語
- 2 学期 期末試験 : 『源氏物語』、『老子／荀子／韓非子』、初見問題、敬語、漢文句法、古文単語
- 3 学期 学年末 : 『花月草紙』、和歌、逸話、初見問題、助詞、漢文句法、古文単語

VI. 評価の方法

定期試験を中心に、小テストや提出物の状況を踏まえて総合的に評価する。

- 1 定期試験・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができているか。
- 2 小テスト・計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができているか。
- 3 提出物・積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができているか。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	説話『十訓抄』より「大江山」 ・用言と助動詞の復習 ・敬語法（敬語の種類） ・和歌の修辞（掛詞） ・文学史（説話集）	定期試験 小テスト 提出物など	<ul style="list-style-type: none"> ・単語と助動詞の意味を正確にとらえた正確な口語訳ができる。 ・基本的な敬語を覚え、尊敬／謙譲の口語訳ができる。 ・当意即妙な和歌を詠めることが当時の人々にとってどのような意味があることなのかをふまえ、掛詞等の工夫を理解して和歌を正しく解釈することができる。
	5	故事『説苑』より「江南橘為港北枳」 ・句法：疑問／反語、願望、使役 ・比喩の理解		<ul style="list-style-type: none"> ・正確な書き下し文をもとに、句法に注意した口語訳ができる。 ・作中の比喩を解釈し、漢文の文体に親しむ。
	6	歴史物語『大鏡』より「南院の競射」 ・敬語法（二重尊敬・二方向への敬意） ・文学史（歴史物語）		<ul style="list-style-type: none"> ・古文特有の敬語の使い方を理解し、正確な口語訳ができる。 ・貴族階級の人々の思想を理解し、正確に状況を把握できる。
	7	史伝『史記』より「四面楚歌」 ・句法：詠嘆、否定		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の流れを理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・作中の漢詩の意味を理解し、人物の心情を読み取る。
	8	『読み解く古典2』問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習に取り組み、高1から夏までの基礎事項を確認する。
一学期	9	歌物語『大和物語』より「鳥飼の院」 ・和歌の修辞（隠題） ・文学史（物語）	定期試験 小テスト 提出物など	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の知識を定着させ、読解に活かすことができる。 ・多様な修辞法をふまえながら、状況と関連付けて和歌を解釈し、読み味わうことができる。 ・『源氏物語』に至る、物語作品の歴史を理解する。
	10	思想『論語』『孟子』『荀子』より各一篇 ・句法：疑問／反語		<ul style="list-style-type: none"> ・春秋および戦国時代の状況をふまえ、儒家の思想を他の思想と比較して理解することができる。
	11 12	物語『源氏物語』より「光源氏誕生」 ・文学史（平安期全般）		<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景に配慮して登場人物の心情を理解し、作品を読み味わうことができる。 ・平安期の女流文学を中心に、歴史の流れの中で各文学作品が成立してきた背景を理解する。
		思想『老子』『荘子』『韓非子』 ・句法：願望、選択、二重否定、比較		<ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の歴史的背景を理解する。 ・それぞれの思想家の考えが反映された文章を読み、儒家との比較の中でそれぞれの特異性を理解することができる。
二学期	1	近世随筆『花月草紙』より「花」 ・副助詞 ・終助詞 和歌・歌謡・俳諧より数首（数句） ・修辞法（全般） ・文学史（和歌集）	定期試験 小テスト 提出物など	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の文体に親しみ、近世随筆において言及される我が国の文化の特徴について考えることができる。 ・随筆文における筆者の主張とその根拠を、論の展開に注意して正確に読み取ることができる。 ・和歌を伝統的な美意識に基づいて理解し、情景や歴史等の背景をふまえた和歌の創作に生かすことができる。
	2	逸話「知音」「梁上君子」		<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の句法を押さえつつ、寓話の意図を読み取り、正確な読解をすることができる。
	3	『読み解く古典2』問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・入試に対応できるだけの、古典分野の基礎力の定着度を、問題演習を通じて確認する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。